

トミヨ

Pungitius sinensis (Guichenot)

トゲウオ目トゲウオ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

選定理由

地下水位の低下にともない、現在では限られた場所のみ生息している。

形態

背部に8～10本のトゲをもち、体側には32～36枚の鱗板が並んでいる。

国内分布

北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県。

県内分布

志賀町、白山市、能美市。

生態

雄が水草などを使って球状の巣を作り、産みつけられた卵を保護する。

生息地の条件

湧水の影響が強く、年間を通じて水温の変化が少ない場所に生息する。巣を作るための素材となる水草や営巣場所が必要。

生存の危機

地下水位の低下。違法採集。(A)

特記事項

生息地の一部では保護活動が行われている。石川県指定希少動植物種(2005年)。

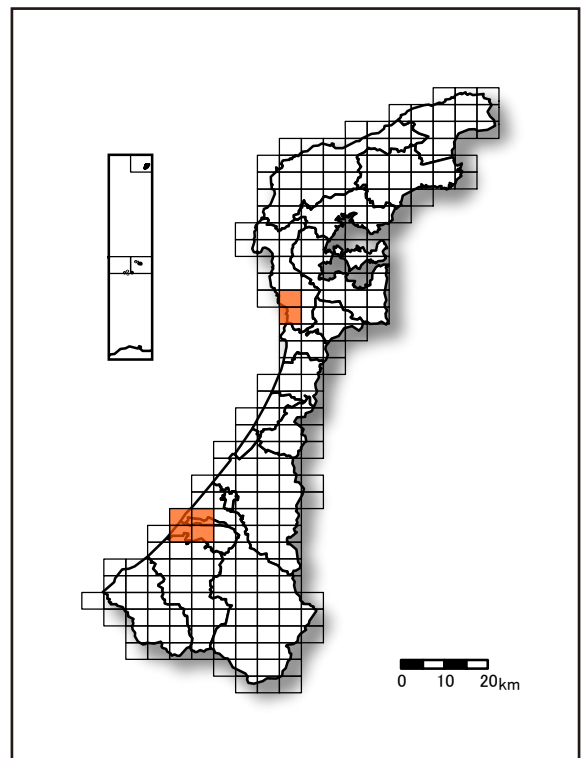
参考文献

平井賢一 1992. 手取川扇状地における淡水魚類の減少傾向. 金沢大学日本海域研究所報告 24 : 49-62.

平井賢一 1994. 手取川扇状地の淡水魚類相. 金沢大学教育学部研究紀要. 自然科学編. 23 : 133-143.



写真提供者: 山本邦彦



県内の分布